

日刊建設工業新聞（2024年2月9日付 6面掲載）

【オリコンサルグローバル ベトナムの地盤工学国際会議に2氏登壇】

ベトナムの地盤工学
国際会議に2氏登壇

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタ
ンツグローバル総合開発事
業部港湾部のレ・プオン・
ドン氏と水野竜太氏は、2
023年12月14、15の両日
にベトナム・ハノイの国立
ドン氏による発表の様子（オ
リコンサルグローバル提供）



会議場で開かれた第5回ハ
ノイ地盤工学国際会議に登
壇した。ドン氏は地盤改善
セッションで、発表論文総
数40編の中から最優秀プレ
ゼンターに選ばれた。

ハノイ地盤工学国際会議
はFECON社、ベトナム
土力学・地盤工学会、地盤
工学会、ベトナム国立水資
源大学、ベトナム石油研究
所が主催する持続可能なイ
ンフラ開発に向けた地盤工
学技術をテーマとした国際

会議。11年に第1回を開き、
今回が5回目。会議には世
界40カ国から約1000人
の地盤工学に関わる技術者
が参加。208編の技術論
文が発表された。

オリエンタルコンサルタ
ンツグローバルは共著を含
め4編の論文を発表。ドン
氏は現在同社が実施してい

る「インドネシア国パティ
ンバン港開発事業」で地盤
改良工法として採用した、
同国の伝統工法である竹杭
・竹マット工法を発表し
た。水野氏は同事業の変形
が戻りにくい粘性土層地盤
で、大口径の長尺摩擦杭に
関する設計について発表し
た。